

わが

市民の力をまちの力に 活力ある魅力的なまちを目指して

はじめに

阿賀野市は、県都新潟市から程近く、新潟駅や新潟空港から車で約40分という距離にあり、さらに市内には磐越自動車道の安田インターチェンジもあることから、県内のみならず、県外からの交通アクセスにも恵まれています。



5000羽の白鳥が飛来する「瓢湖」

白鳥の飛来地として有名な「瓢湖」は、昭和29年、人工給餌の成功によって国の天然記念物に指定され、平成20年にはラムサール条約湿地に登録されました。毎

年5000羽を超える白鳥が飛来し、湖面を優雅に泳ぐ姿や力強く飛び立つ様子などを間近で観察することができます。市街地に隣接し、「手を伸ばせば触れてしまいう」な距離で白鳥や鴨類に逢える、そんな湖です。春は桜、初夏はアヤメ、夏はハスなど、四季折々の花々が周辺を彩り、年間を通して憩いの場として親しまれています。また、本市のイメージキャラクター「ごずっちょ」のモデルにもなった5つの峰を持つ「五頭山」は、子どもから高齢者まで気軽に登山を楽しめ、その麓には開湯1200年を超える県内最古の歴史を誇る「五頭温泉郷」が湯けむりを上げています。出湯、今板、村杉の3つの温泉地があるこの温泉郷は、ラムサール含有量が日本有数といわれる効能高い温泉で、地元の食材を

使った健康レシピと相まって、「入浴するといつまでも若々しく元気に過ごせる温泉」として評価が高く、平成24年度新潟県観光地満足度調査では総合満足度第1位を獲得しました。個性あふれる12の温泉宿のほか、共同露天風呂や共同浴場、足湯など6つの外湯があり、時間に合わせてゆったり、のんびり、癒やしのひとときを過ごしたり、湯めぐりを楽しんだり温泉の醍醐味を堪能できます。

園芸振興と6次産業化で 儲かる農業を

市は、米を基幹作物として農業生産に取り組んできました。しかしながら、近年の米の消費減退による米余りから米価の大幅下落によって、水田の規模拡大を図っても米農業だけでは農業経営が成り立たない現状にあります。そこで、平成23年度を「阿賀野市園芸振興元年」と位置付け、積極的



阿賀野市イメージキャラクター「ごずっちょ」

結果、いちご「越後姫」の高設栽培や、水稻育苗ハウスの空き期間を利用した「小松菜」「オータムポエム」などの葉物栽培などに取り組み農家や農業法人が増えてきました。本年は、新たな園芸品目として、新潟県では栽培技術が確立されていない「バターナッツかぼちゃ」の産地化への検証を行うため、指定障害福祉サービス事業所や地元農業者と連携し取り組みを始めたところです。

このほか、園芸農家による食べられる花、エディブルフラワーの加工品製造販売や、酪農家によ



タオルとイスで行う「けんこつ体操」

る自家生乳を使ったジェラートやソフトクリームの製造販売など、6次産業化の取り組みを積極的に進めています。

今後も、より一層、園芸生産の普及拡大と農業の6次産業化の推進に努めながら、農業所得の安定向上を目指してまいります。

健康寿命日本一のまちづくり

阿賀野市の高齢化率は平成25年度末現在27・7%で、近い将来、3人に1人が高齢者という時代を迎えます。市では、この超高齢社会への対応として、すべての市民が住み慣れた地域において生涯にわたり自立した生活を営める社会づくりを目指す「阿賀野スタイル健

康福祉プロジェクト」を構築し、健康寿命日本一のまちづくりを進めています。

市民の元気づくりを支えるため、平成20年度から地域で健康づくりや介護予防活動ができるよう、「元気づくりサポーター」を養成してきました。現在では70人余りの市民が登録し、各地域の健康教室やサロンに出向き、運動やレクリエーションの指導を行っています。

また、今年度からさらに元気な市民を増やそうと、新たに「元気長生き応援隊」を結成しました。各種体操などの有資格者からなる応援隊が、健康寿命に関する講話や情報提供、市独自で考案したタオルとイスだけあればできる「けんこつ体操」や、姿勢・歩き方・呼吸法を基本とした「シャキー！いき！健康法」などを普及し、市民の運動習慣の定着を目指します。

市民力によるまちづくり

進行する少子高齢化による諸課題の解決の在り方を考えるとき、「共助」を基本とした新しい公共のかたちが求められていると認識しています。市では、平成25年度から、地域や社会課題の解決に取り

組む市民活動団体や自治会などが、自主的、自発的に行う公益的な活動に対し「あがの市民活動補助金」を交付し、市民活動のきっかけづくりや活動しやすい環境づくりをサポートしています。

市は、市民と行政との協働により「このまちに住みたい」「このまちに住み続けたい」と思える魅力的なまちづくりに取り組んでいきます。そして、より多くの市民の皆さん

プロフィール

- ◆ 面積 192・72 km²
- ◆ 人口 4万4960人
- ◆ 世帯数 1万4139世帯

〔将来都市像〕 元気で明るく活力ある魅力的なまち

〔まちの特徴〕 市名の由来となった清流「阿賀野川」が流れ、県立自然公園の「五頭連峰」を背に、美しい田園風景が広がる自然豊かなまち

〔市町村合併〕 平成16年4月1日、安田町、京ヶ瀬村、水原町、笹神村の



阿賀野市長
田中清善



4町村が対等合併

〔特産品〕 米、地酒、地ビール、乳製品、安田瓦、三角だるま、焼き物

〔観光〕 瓢湖、五頭温泉郷、水原代官所、吉田東伍記念博物館、サントピアワールド

〔イベント〕 瓢湖あやめまつり、水原まつり、瓢湖大花火大会、ふるさとだしの風まつり、コスモス京ヶ瀬まつり、裸参り、ささかみゆうぎの里の火祭り

から地域や市政に関心を持っていただき、主体的、自発的な意思と発想に基づき活動できるように、対等の立場で情報を共有し、協力し合う関係を作っていききたいと考えています。

常に市民に寄り添い、市民目線で考え、行動することを念頭に置き、「市民の力をまちの力」に変えながら、「元気で明るく活力ある魅力的なまち」を目指します。

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

溢れる市民活力と豊かな地域資源で 日本の地域再生のさきがけに

多彩な「協働」で課題解決

小田原市では、多様化した市民ニーズへの対応をはじめ、少子化・超高齢化・縮小社会という、来るべき将来向き合わねばならない厳しい現実を乗り越えていくため、市民も行政も一体となって地域の課題に対する高い問題解決能力を育て



まちのシンボル「小田原城天守閣」

る観点から、協働に力点を置いた、まちづくりに取り組んでいます。

代表的なものとして、福祉の分野では誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくための「ケアタウン構想」を、また教育の分野では地域総ぐるみで子どもたちを守り育てるという理念の「スクールコミュニティ事業」を推進しています。これにより、民生委員や社会福祉協議会、PTA、子ども会、自治会など、地域に根ざした方々のご理解とご尽力を得、高齢者や障がい者、子どもたちの見守り活動や居場所づくりが実現しています。いずれもモデル地区で先行的取り組みからスタートし、順次実施地区を増加中。今後も市内全域に拡大する計画です。

他方、本年「緑の基本計画」の改訂作業に着手する中で、公園緑地

がスクールコミュニティや地域コミュニティ活動の拠点となるよう、住民と一体となった活用などについて計画に明記する考えです。

本市の「身近な公園プロデュース事業（近隣住民が公園に花を植えたいなどと思えば実際に自ら花を植え花壇を整備できる事業）」で、既に地域住民の積極的な参画例があり、こうした側面からも住民のまちづくりへのかかわりや集いの場が広がっていくことを目指しています。

自治の基本単位 「地域コミュニティ」の 充実へ

さまざまな地域活動の基本単位である「連合自治会（小学校区とほぼ重なる）」においては、各々に「地域別計画」を策定していただいています。これは、総合計画策定に際

し、計画本体とは別に地域ごとの計画を地域住民自ら作成していただいたもので、地域が目指す将来像とそれを実現するための取り組み内容などが盛り込まれています。自治会を中心に青少年育成協議会、商店会、消防団、防災リーダー、老人クラブ、健康普及員、有志など、地域の実情に応じたメンバーで構成された委員会が携わりました。この計画の下、防犯・防災活動や環境美化活動、地域イベントの開催、郷土史の伝承、世代間交流など幅広く、地域でできることは地域で解決すべく取り組んでいただいています。

民間が持つ 「無尽蔵」の力を引き出す

小田原は、自然環境、歴史文化、伝統、産業など、豊富な地域資源を有していると自負していますが、恵まれていたがゆえに、それら地域資源を生かしきれてはいませんでした。これに対し本市では、地



地域住民が積極的に参画する「身近な公園プロデュース事業」

域経済や文化芸術など10のテーマを設定し、まちの潜在力を一層引き出すべく活動してくださる民間の団体に「無尽蔵プロジェクト」を推進していただいています。「無尽蔵」とは郷土の偉人、二宮尊徳翁の教え「徳は無尽蔵にあり」にちなんだもので、人々の知恵や可能性は尽きることがないとの意。行政が補佐役、民が主導のスタイルで、民間ならではの柔軟なアイデアで、歴史的建築物のまち歩き拠点化やカフェ設置、地元産柑橘類の新商品開発、ものづくりとデザイン・アート融合の試み、小田原映画祭の開催など、各分野で成果を挙げています。平成24年にはこの無尽蔵プロジェクトが評価され、日本

計画行政学会計画賞の最優秀賞を受賞しました。

豊かな地域資源を生かした事業分野の創出

豊かな自然が与えてくれる農林水産業の恵みがさまざまな形となり地域経済を潤すよう、6次産業化にも取り組んでいます。

市域面積の4割を森林が占める本市では、ここ数年、森林・林業・木材産業再生に向けたさまざまな取り組みを集中的に立ち上げています。地域の木造建築や木工にまつわる高度な技術の存在などを踏まえ、地場の木材を可能な限り活用し、「小田原を木づかいのまちに」と考えています。これまで、間伐材を活用した「木の葉書」の商品化や、校舎など公共施設の木質化、木育推進などのチャレンジが形になりました。

相模湾には豊かな森から栄養が海に流れ込むことで良好な漁場が形成されています。小田原の魚といえばアジが有名ですが、四季折々さまざまな魚が獲れ、魚種、鮮度、味とも抜群。小田原の地魚のよさを再発見していただくとともに、新たな商品化や販路拡大を目指し

て「魚のブランド化」に取り組んでいます。

農業の分野では、本年4月にはオリーブを新たな特産品にしよう」と地元農家による「小田原オリーブ研究会」も発足。いずれもその分野の生業に携わる関係者の熱意が取り組みを支えてくれています。

おわりに

これからの将来、地方自治体が

真に持続可能な地域社会を実現していくためには、地域の現場から実践により裏打ちされた具体的な解決策を提示していくことが求められると思います。「荒地は荒地の力で」とは二宮尊徳翁の言葉です。溢れる市民力、豊かな地域資源を持つ小田原がまず自らのまちの未来を切り拓き、日本の地域の再生のさきがけとなるべく邁進していく所存です。

プロフィール

- ◆ 面積 114.06 km²
- ◆ 人口 19万5284人
- ◆ 世帯数 8万113世帯

〔将来都市像〕市民の力で未来を拓く希望のまち

〔まちの特徴〕相模湾、箱根丹沢の山々、酒匂川。温暖な気候に恵まれ、城下町、宿場町の歴史文化が息づくまち

〔特産品〕梅、柑橘類、たまねぎ、魚（アジ・イサキ・カマス・ヒラメ）、提灯



小田原市長
加藤憲一



〔観光〕小田原城、石垣山一夜城歴史公園、曾我梅林、神奈川県立生命の星地球博物館、小田原市尊徳記念館（二宮尊徳生家）

〔イベント〕小田原梅まつり、小田原おでんサミット、小田原かまぼこ桜まつり、小田原北條五代祭り、小田原酒匂川花火大会、みなとまつり、城下町小田原ツアーマーケット

〔産業〕 鋳物、漆器・寄木細工、蒲鉾、おでん

※面積は国土地理院「全国都府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

赤穂市（兵庫県）

赤穂市長 豆田正明
まめだまさあき

わが

元気で魅力あふれる 将来にわたって輝き続けるまち、赤穂

豊かな自然と歴史が
調和したまち

赤穂市は、播磨灘や名水百選に選ばれた清流千種川、そして豊かな自然にはぐくまれ、「忠臣蔵」や「赤穂の塩」をはじめとする、全国に誇るべき歴史や文化が多く残る魅力あふれるまちです。

市内には、国指定史跡の赤穂城跡や赤穂義士ゆかりの史跡などが点在し、元禄の香りや城下町ならではのしっとりとした佇まいを肌で感じることができます。

また、瀬戸内海国立公園の美しい海岸線や高濃度の成分を誇る赤穂温泉、さらには、国指定天然記念物の生島樹林や歴史的な町並みなどがあり、豊かな自然と歴史が調和しています。

赤穂は、古くから塩の産地とし

て栄え、江戸時代には「塩の国」と呼ばれていました。塩とともに歩んだ歴史は今も生き続け、新たな赤穂塩の魅力为全国にアピールしています。

本市が目標とする都市像「人が輝き自然と歴史・文化が薫るやさしいまち」を目指して、誰もが住んで良かった、住み続けたい、住んでみたいと思える元気で魅力あふれるまちづくりに取り組んでいます。

新婚世帯を対象にした 最大57万6000円の 家賃助成

平成25年4月から赤穂市内の家賃物件に居住する新婚世帯に対し、家賃の一部を商品券で助成する「新婚世帯家賃助成事業」を実施しています。

実質家賃負担額が月額4万円を

超えていることを条件に、最大3年間、市内同士の夫婦には月額最大1万円、さらに夫婦に市外からの転入者がいる場合には1人につき3000円を加算して、地元商工会議所が発行する市内127店舗・事業所で使える商品券を支給しています。

この事業を通して、市内および市外からの若者世代の定住を促進し、地域経済の活性化を図っています。

広域的な市町連携を進める 圏域バス「ていじゅうろう」

本市は、地理的、歴史的につなごうの深い兵庫県上郡町と岡山県備前市とともに、平成21年12月に「東備西播定住自立圏」を形成し、圏域からの人口流出を防ぎ、都市部から人の流れを創出する広域的

な市町連携を進めています。

この中でも、圏域内の住民の移動手段の確保や利便性の向上および地域の活性化を目的に、誰もが利用できる地域の乗り物として、「コミュニティバス「ていじゅうろう」」を運行しています。県や市町を超える圏域内の病院や商業施設といった生活に欠かせない施設を巡るルートを設定し、平成24年2月から上郡ルート（JR上郡駅⇄赤穂市民病院）、3月から備前ルート（吉永病院⇄イオン赤穂店前）の2路線を低料金で運行しており、バスの旅を楽しみながら、利用していただいています。

「スポーツ先進都市」の 実現を目指して さあ走ろう 義士のふるさと あここのまちを

本市は、平成24年2月に「健康とスポーツを新機軸としたスポーツ先進都市」の実現を目指すため、「スポーツ都市」を宣言しました。これ



全国各地から多くのランナーが参加する「赤穂シティマラソン大会」

を機に市民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができ、さらに、すべての市民が生活の一部としてスポーツ活動や健康づくりを行うことができるスポーツ先進都市を目指しています。多様な参加ができる「する」スポーツ、魅力ある「みる（観戦する）」スポーツ、感動を分かち合う「支える（応援する、運営する、育てる）」スポーツをキーワードに、多様なかわり方を通じてスポーツの推進に取り組んでいます。

その中でも、「全国ランニング大会100撰」にも選ばれた「赤穂シ

ティマソン大会」は、マラソンを通じて健康づくりへの関心を高めていただくとともに、「活気あふれる忠臣蔵のふるさと播州赤穂」を広く市内外に発信することを目的として毎年開催しています。また、約1500人のボランティアスタッフや沿道応援など多くの市民がかかわっており、「みる・支える」スポーツにもつながっています。

世界の實力派アーティストたちが集う「ル・ボン国際音楽祭 赤穂・姫路」

赤穂ゆかりのヴァイオリン奏者であり、世界最高峰のオーケストラ、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の第一コンサートマスターである榎本大進氏が音楽監督を務める「ル・ボン国際音楽祭 赤穂・姫路」を毎年10月に開催しています。「ル・ボン」とは、架け橋の意味。榎本氏から「音楽を架け橋に、人と人とのきずなを大切にし、平和で幸せな世界をつくりたい」という想いを受け、「一流の演奏家による室内楽を市民が気軽に楽しめ、奏者と聴衆の距離の近い音楽祭」を目指して、平成19年から本市、姫路市で交互に開催し、榎本氏の親

交のある世界的演奏家がボランティアで多数出演してくださっています。音楽祭の運営では、市民ボランティアの協力を得ながら、演奏家と聴衆、市民とのさまざまな交流を図っています。また、多くの方に素晴らしい演奏を聴いていただけるよう入場券を1000円で販売しています。本年は、10月13日から6日間の日程で開催し、赤穂の名を世界に向けて発信していきます。

プロフィール

- ◆ 面積 126.88 km²
- ◆ 人口 5万63人
- ◆ 世帯数 2万267世帯

〔将来都市像〕人が輝き 自然と歴史文化が薫る やさしいまち

〔まちの特徴〕播磨灘と千種川の清流にはぐくまれ、古い歴史と伝統を持つ、義士発祥のまち

〔特産品〕塩味まんじゅう、赤穂塩、



赤穂市長 豆田正明



塩ラーメン、牡蠣、焼きあなご、赤穂みかん、赤穂織通、雲火焼

〔観光〕赤穂城跡、赤穂温泉、赤穂海浜公園、花岳寺、大石神社、義士あんどん

〔イベント〕市民の夕べ（播州赤穂花火大会）、坂越船祭り、赤穂シティマラソン大会、ル・ボン国際音楽祭 赤穂・姫路、赤穂義士祭、赤穂かきまつり



一流のアーティストが集う「ル・ボン国際音楽祭 赤穂・姫路」

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

わが

自然の恵みを活かし、豊かな産業を はぐくむまち・いさはや

豊かな自然と 歴史・文化のまち

諫早市は、長崎県の中央部に位置し、標高1000m級の山々が連なる多良山系と豊富な森林地帯、裾野を広げる山麓台地、肥沃な丘陵地帯、本明川をはじめとする多



諫早市のシンボルである眼鏡橋

くの河川、開放的な橋湾、内海の大村湾、干潟の海の有明海、干拓平野や棚田、海に映える果樹園や畑地帯、里山など多様で特色を有する豊かな自然環境と田園風景が広がっています。

市内には約1万年前の旧石器時代や縄文・弥生時代の遺跡、古墳などが数多く残り、江戸期の長崎街道、諫早街道、街道沿いの寺社仏閣や国の重要文化財に指定されている石造りアーチ橋の眼鏡橋、国の天然記念物に指定されている城山暖地性樹叢の中にある高城城址や本格的な大名庭園である御書院など、長い歴史が蓄積されています。

平成17年3月1日、多様な自然と歴史・文化を有する諫早市、多良見町、森山町、飯盛町、高来町および小長井町の1市5町が合併

し、現在の諫早市が誕生いたしました。

各地域では、古くから受け継がれてきた浮立や皿踊り、また、民謡や祭りなど自然風土にはぐくまれた伝統芸能が守られ、浪漫派詩人の伊東静雄や芥川賞作家の野呂邦暢、書家・広津雲仙、洋画家・野口弥太郎、脚本家の市川森一など、多くの郷土ゆかりの芸術家を輩出しております。

合併10年目に当たります本年3月1日には、本市の貴重な歴史文化遺産を展示、保存継承するため「諫早市美術・歴史館」を開館いたしました。開館から3カ月間で約1万人もの方にご来場いただきました。順調な滑り出しを見せています。

新たな産業活力の創出

本市には現在、長崎自動車道諫

早インターチェンジ周辺に「貝津金屬工業団地」「山の手工業団地」「諫早中核工業団地」「諫早流通産業団地」という4つの産業団地があり、これらの団地には186社が操業し、約9700人が働く産業拠点となっております。

このうち「諫早中核工業団地」は、総面積226haのうち102haが公園・緑地という広大な自然環境に恵まれ、大型企業が相次いで進出し、機械金属や食料品、半導体、航空宇宙関連企業など製造業を中心に平成26年5月現在で143社が操業しています。

また、本年4月からは長崎自動車道諫早インターチェンジまで5分という恵まれた立地環境にあり、分譲用地7.8haの「西諫早産業団地」の分譲を開始しましたが、既に複数の企業から問い合わせがあり、関心の高さが伺えることから、早期完売を目指しております。

このような企業立地の進展により、ものづくりの基盤が本市に

は根付いており、製造品出荷額においては県内第2位の産業拠点として発展しています。

ひと・とき・きぼうを結ぶ諫早駅

平成24年6月、武雄温泉・長崎間をフル規格で整備する工事実施計画の認可を受けました九州新幹線西九州ルートは、わが国本土の西端に至る国土軸の骨格を成し、西九州地域の振興に大きく寄与する整備路線であり、現在、平成34年春の開業を目指し順調に工事が進められております。

今回の新幹線事業に併せ、交通結節機能の向上や地域活性化の拠点となる諫早駅周辺整備事業の実施を予定しております。本市はもちろん、島原半島を含む人口約30万人の広域交通の玄関口としての役割を担うことになることから、本市として今後百年の大計を成す重要なプロジェクトと位置付け、「ひと・とき・きぼうを結ぶ諫早駅」を基本コンセプトに、新幹線開業を契機に多くの方が集い、楽しみ、憩う交流が図られるよう、ハード・ソフト両面で魅力あるまちづくりを進めていきます。

長崎がんばらんば国体・長崎がんばらんば大会に向けて

本年は長崎県において「第69回国民体育大会 長崎がんばらんば国体」と「第14回全国障害者スポーツ大会 長崎がんばらんば大会」が開催される年です。長崎県において国体が開催されるのは45年ぶりの中で、現在、10月12日から始まる本大会の成功に向けて県内各自治体が最終的な準備を進めている状況です。

本市においては、総合開会式・閉会式のほか、陸上競技、バレーボールなど7競技が開催されます。市民総参加のスポーツ振興に取り組んでいる本市にとりましても、本大会はスポーツに親しむ環境づく



長崎がんばらんば国体バレーボール競技(成年女子)とフェンシングが行われる諫早市中央体育館

くりや本市出身のロンドンオリンピック男子体操競技個人総合金メダリストの内村航平選手に続く世界で活躍するスポーツ選手の育成と競技力向上に向けた絶好の機会です。また、全国からお越しになる多くの方々に、本市の魅力を伝える機会でもあり、平成22年12月には諫早市準備委員会を設立し、行政と民間が一体となりスポーツ

施設の整備・充実を図るとともに、運営ボランティアの募集および研修など、創意工夫を凝らした、温もりのある大会になるよう準備を進めております。大会において熱い競技が繰り広げられることを期待し、全国の選手、大会関係者、一般観覧者の皆さまの諫早市へのお越しを市民一同、心よりお待ちしております。

プロフィール

- ◆ 面積 321.26 km²
- ◆ 人口 14万20人
- ◆ 世帯数 5万7648世帯

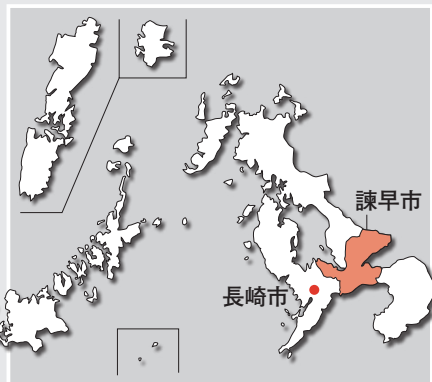
〔将来都市像〕「ひとが輝く創造都市・諫早」

〔まちの特徴〕長崎県央に位置し、自然豊かで良好な生活環境や交通基盤、多様な産業が集積したまち

〔市町村合併〕平成17年3月1日、旧諫早市、旧多良見町、旧森山町、旧飯盛町、旧高来町、旧小長井町の1市5町が対等合併



諫早市長 宮本明雄



〔特産品〕おこし、うなぎ料理、馬鈴薯、玉葱、伊木力みかん、幻の高来そば、小長井牡蠣(華連)、カーネーション

〔観光〕眼鏡橋、白木峰高原、諫早ゆゆうランド干拓の里、いいもり月の丘温泉、山茶花高原ピクニックパーク&ハーブ園

〔イベント〕諫早つつじ祭り、諫早万灯川まつり、ののこ諫早まつり

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。